

Uターンの先輩から

漁業者編



よしかわ まさひろ
吉川 将さん
五島市在住21年

五島市出身の吉川さんは、高校卒業後、奈良県内のスーパーで働いていましたが、結婚を機にUターン。幼い頃から漠然と海に興味を持っていましたが、漁師になろうとは思っていませんでした。しかし、義父の船に同乗し、漁を初めて経験した際、五島の海の素晴らしさに改めて気づき、漁業に携わることを決心しました。吉川さんが勤めている株式会社三井楽定置には、吉川さん以外にも関東や関西から移住した方がいて、自然の中で働くことにやりがいを感じているそうです。

移住後、地域おこしの活動にも取り組んでいる吉川さんに今後について聞いてみると「定置網漁は代々受け継いでいく漁です。次の世代につなぐことを意識しているので、ぜひ若い人たちに五島に移住してもらいたいです」と熱く語ってくれました。

農業者編



よこた ようへい
横田 洋平さん
雲仙市在住3年4カ月

雲仙市出身の横田さんは、高校卒業後に福岡県内で働いていましたが、仕事のやりがいについて考える中で、地元での農業に興味を持ち、県の新規就農相談センターに相談しました。「相談員の方が、親身になって相談に乗ってください、たくさんサポートしていただきました」と横田さん。1年間の研修後、ミニトマトとブロッコリーの農家として一人立ちしました。

移住後は、長崎の食べ物や自然などの魅力に改めて感じているそうです。今後の目標について尋ねると「頑張った分だけ成果が出る農業は、とてもやりがいがあります。地域の方々の協力もあり、順調に経営規模は大きくなっているため、今後もさらに大きくしていきたいです」と力強く語ってくれました。

リモートワーク編



もりした なお
森下 茄穂さん
時津町在住5カ月

時津町出身の森下さんは、福岡県内の大学を卒業後、東京の企業でエンジニアとして働いていたところ、新型コロナウイルス感染症の影響で勤務形態がテレワークに切り替わりました。いつかは長崎に帰りたいと思っていた森下さん。「コロナ禍で家族に会えなかったことや、東京での暮らしが自分に合わないと感じ始めていたことから、会社からの後押しもあって仕事はそのままUターンしました。移住の際は、『ながさき移住サポートセンター』の東京窓口の方が、親身に相談にのってくださいました」と話してくれました。Uターン後について尋ねると、「生活に余裕ができたため、朝のウォーキングやヨガを始めました。今後はこれまで行ったことのない県内のスポットを訪れてみたいです」と語ってくれました。

YouTube

動画で見る先輩移住者の暮らし

公式YouTubeチャンネル「長崎リア住！放送局」では、先輩移住者の働き方やライフスタイルを紹介する動画を配信しています。さまざまな暮らしを実践している皆さんの日常は、移住をぐっと身近に考えるきっかけやヒントにつながります。



長崎リア住！放送局

ウェブサイト「ながさき移住ナビ」(P7参照)にも移住者インタビューを掲載しています。



特集 帰ってこんね長崎へ

special issue

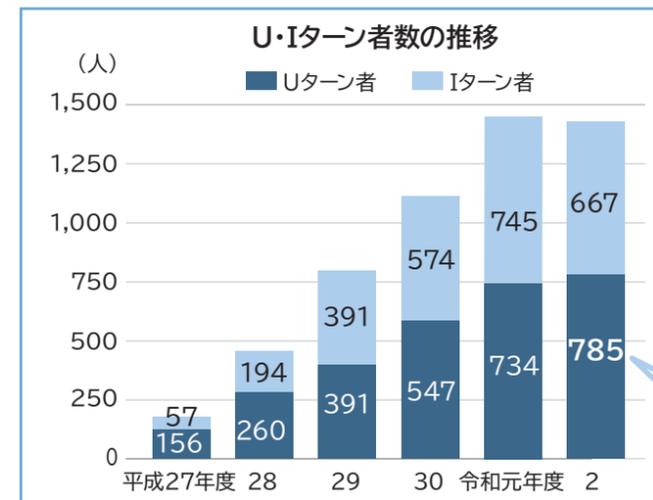
~この笑顔、ふるさとならではの~

U・Iターン者を受け入れて
地域を元気に

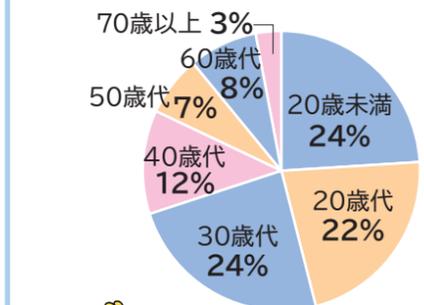
本県では、少子高齢化や若者を中心とした県外への転出などにより、全国でも早いスピードで人口減少が進んでいることから、多くのU・Iターン者を呼び込み、県内地域の活性化につなげるため、移住促進に取り組んでいます。

これまでの取り組みにより、結婚や子育てを機に、ふるさとへUターンする40歳代以下の働き盛り世代の方が増えてきているほか、新型コロナウイルス感染症拡大を背景に、どこでも働くことができるリモートワークなどの急速な普及もUターンを後押しする傾向にあります。

U・Iターン者の受け入れや定住は、地域の産業の担い手確保やコミュニティの維持・活性化、新たな魅力の発掘など、地域が活気を取り戻すためのきっかけにもなっています。活力ある長崎県を維持していくため、この特集の情報を県外へお住まいのご家族・ご友人へぜひお知らせください。ご協力よろしく申し上げます。



令和2年度U・Iターン者(1,452名)の年齢層



Uターン者数は過去最高！40歳代以下の若い世代も前年度からさらに増加し、8割以上を占めています。

Uターンのご相談はこちらへ

ながさき移住サポートセンター

県と県内21市町が共同で運営し、就職・転職や住まい探しなどU・Iターンに関するさまざまなサポートを行っています。U・Iターンを検討している当事者の方はもちろん、ご家族やお知り合いの方もお気軽にご相談ください。

総合ポータルサイト 「ながさき移住ナビ」をリニューアル!

ながさき移住ナビ

ながさき移住 検索

長崎ならではの暮らしの景色や人々の様子、働き方を紹介するコーナーを充実!デザインを一新し、知りたい情報をより調べやすく、見やすくなりました。

移住相談会の案内

今後の移住相談会のスケジュールは日程が決まり次第、随時ながさき移住ナビに掲載します。

SNSでも情報発信中!

FacebookやInstagram、LINEでも情報を発信しています。ぜひフォローをお願いします。



リモートワーク支援特設サイトを開設!



リモートワークが可能な県内施設の情報が各市町の取り組みなどを紹介。リモートワーク、ワーケーションを検討している方に最適な情報を提供します。

長崎 リモートワーク支援 検索

ながさき移住倶楽部 登録無料

会員登録すると、本県へのU・Iターンに関する最新情報を入手できるほか、さまざまな特典やサービスを受けることができます。

主な特典

- 引越料金・レンタカー料金の割引
- 宿泊施設での割引サービス など

窓口の紹介

長崎本部

長崎市尾上町3-1 県庁4階
☎095-894-3581(直通)
受付時間 9時~17時(月~金)
※祝日、12/29~1/3を除く

東京窓口

東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階(ふるさと回帰支援センター内)
☎080-7735-3852(直通)
受付時間 10時~18時(月曜休館)
※祝日、8/10~15、12/28~1/2を除く

県外で暮らすお子さんやお孫さん、ご友人などへお知らせ頼むばい!



長崎県知事
中村法道

本県は、少子高齢化や人口減少、新型コロナウイルス感染症の影響など多くの課題を抱え、大変厳しい状況にあります。一方で、西九州新幹線の開業や特定複合観光施設(IR)の誘致、企業誘致の拡大など、まちや産業構造が大きく変わろうとしています。このような大きな変化の波を地域活性化に結びつけるため、今後もU・Iターン施策に力を注いでいきますので、県民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

問合せ 県の地域づくり推進課 ☎095-895-2242

広報テレビ番組「みじかなナガサキ」でも今回の特集を8月に放送します。ぜひご覧ください。

Uターン後のチャレンジを支援

移住・創業への支援など

都市部からの移住を促進するとともに、地域の雇用創出につながる創業に取り組む方を支援します。(公募期間など詳細はウェブサイトをご確認ください)
市町によってはこのほかにもさまざまな支援が用意されています。



①~②はこちら

①移住支援

東京圏から長崎県への移住者に対し、1世帯当たり100万円を給付(単身の場合は60万円)

対象 東京23区に連続5年以上在住または通勤していた方など

- 要件
- 就職支援サイト「Nナビ」掲載の対象求人へ就業した方
 - 内閣府が実施する「プロフェッショナル人材事業」又は「先導的人材マッチング事業」を利用して県内企業に就業した方
 - ②創業支援(本ページ下部参照)を活用して県内で創業する方
 - 移住先を生活の本拠とし、従来の業務を引き続き行う方(テレワークなど)
※自己の意思によるものに限る(転勤や出向などを除く)
 - 移住前に移住先の地域との深い関わりがあった方(関係人口)

Uターン者も活用
待っとるばい!



◎令和3年2月26日以降の転入については、テレワークを活用して仕事は変えずにUターンされた方、県内市町が「関係人口」として認めた方についても、移住支援金の支給対象となりました。

②創業支援

創業に要する経費を最大200万円補助
(補助率1/2)

対象 創業予定者(付加価値の高い産業分野での事業承継を含む)

- 要件
- 地域課題の解決につながる社会的事業
 - 県内で実施する事業

③有人国境離島法による創業・事業拡充支援

設備投資資金や人件費、広告宣伝費などの運転資金を最長5年間補助(補助率3/4)

対象 対馬、壱岐島、五島列島において新たな雇用を生む創業または事業拡大を行う方

- ◎補助金の年間上限額
- 創業 450万円
 - 事業拡大 1,200万円



農林漁業への就業支援

就業相談や技術習得など、さまざまな支援を行っています。お気軽にご相談ください。

農業

長崎県新規就農相談センター
☎0957-25-0031



漁業

県の水産経営課
☎095-895-2832



林業

長崎県林業協会
(林業労働力確保支援センター)
☎0957-25-0184

